

第5学年 小学校外国語活動学習指導案

日時：平成31年1月15日（火）

場所：谷汲小学校5年1組教室

授業者：南 匡彌

ALT： Cedric Osborn-Brown

1. 単元名

Unit3 What do you have on Monday?

2. 単元について

Unit2までの学習で世界の文化に触れてきた児童にとって、一番身近な学校生活について「他の国々ではどのようにしているのだろう」と興味・関心がわくのは、自然なことだと考えた。そこで、本単元では学校生活を題材に学習を進め、世界の子どもたちがどのような学校生活を送っているのか、どのような科目を学習しているのか等を知るとともに、自分たちの夢の時間割を考えて発表する。そのことで学習していることや経験したことが将来の自分の進路を決める際に影響があることを実感するために、ある職業に就くためにはどのようなことを学習しているとよいかという視点から、オリジナル時間割を作成し、クイズ形式で紹介し合う。

第1時では時間割での教科の言い方を繰り返して学習した。また、第4時で”What do you have on Monday?” “I have Japanese on Monday.”などの何曜日にどんな教科があるのかという表現に触れ（input）、それをもとに「どんな時間割だと一日が夢のようかを考え、お気に入りの時間割を作成した。さらには、これからの授業ではなりたい職業を選び、その職業に就くためにはどのような教科の学習をすべきか考えながら「夢の時間割」を作成し、紹介し合うといった活動の見通しを持つことができた。（output）。

本時では第6時で「自分の夢の時間割を紹介し合う」という目的をはっきりさせ、友だちと何曜日に何の教科があるかを尋ねながら、時間割の内容を伝え合う活動をする。自分の夢も紹介することから”I want to be ~.”といった「私は～になりたい。」といった英語表現や”I have ~ on Monday.”などの「何曜日にこの教科がある。」といった英語表現を使いながら夢の時間割を紹介する目的として対話することで、楽しみながら自分の思いを伝える手段となると考えた（output）。

3. 児童の実態より

5年生の児童は、男子11人、女子15人の学級である。日頃からよく外に出て、男女ともに仲良く遊ぶことができる集団である。しかし、男女ともに特定のグループで固まって遊ぶ傾向があり、普段あまり多く話さない児童もいる。外国語の授業では、ALTと元気よくあいさつをしたり、歌を歌ったりする姿があり、いきいきと英語を話す活動を進めることができている。Activity（活動）や英語を使ったゲームの中で積極的に活動する児童や、Small Talkを通して仲間と話題を広げながら対話できる児童もいるが、どのような英語表現を使って良いのかわからず黙ってしまったり、自信がなく小さな声で呟いて会話を終わらせたりする児童や、自由に歩き回って英語で伝え合う活動をした時にペアをすぐに作れない児童もいる。しかし、全単元の「Unit2 When is your birthday?」では誕生日カードを作成する目的意識を持たせることで、ペアで質問をし合いながら英語で詳しく好きなものや好きなスポーツ、ペアの誕生日を聞くことができ、少しずつペアでやりとりすることに慣れてきた様子であった。外国語の授業を通して、失敗をおそれず積極的に仲間と楽しく話すきっかけを作ることで、仲間との関わりを深め、学級経営にもつなげていきたい。

4. 単元指導計画（本時 6/6）

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・教科について英語で聞いたり言ったりすることができる。また、活字体の小文字を識別し、読むことができる。 ・学校生活に関するまとまりのある話を聞いておおよその内容を捉えたり、時間割について伝え合ったりすることができる。 ・他者に配慮しながら、時間割やそれについて自分の考えなどを伝え合おうとする。
主な言語教材	<p>What do you have on Monday? I have ~ on Monday.</p> <p>What do you want to be? I want to be ~. Do you have ~ on ~? Yes, I do. No, I don't.</p>
評価規準	<p>「将来仕事に就くためにどのような教科を学ぶか考えながら作った夢の時間割を紹介し合う」活動を通して、What do you want to be? や What do you have on Monday? I want to be~. I have~.などの英語表現を用いながら、対話することができる（コミュニケーションへの関心・意欲・態度）。</p>
教材・教具	教科書、掲示する教科のカード

時	目標	言語材料	主な活動	評価規準・評価方法
1	各教科の英語での言い方を繰り返し練習することができる。また、映像を見て、世界の学校についてわかったことを空欄にメモすることができる。	<p>【subject】</p> <p>Japanese, Math, Science, Social studies, Music, Calligraphy, P.E, Moral Education, Home Economics, Arts and Crafts, English</p>	<p>Activity</p> <p><u>ポインティングゲーム</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師が Japanese と言う。児童はペアになり、くり返しながら教科書の写真を指さす。 ・世界の学校についての英語を聞き、わかったことを空欄にメモする。 	<p>[評価規準]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科の英語を楽しみながら、言おうとしている。（外国語への慣れ親しみ） <p>[評価場面・方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲーム ・コミュニケーションの観察 ・振り返りシート
2	音声を聞き、どの曜日の時間割のことを言っているのかを当てることができる。また、その時間割から友だちが選んだのはどの曜日かを当てることができる。	<p>【subject】</p> <p>Japanese, Math, Science, Social studies, Music, Calligraphy, P.E, Moral Education, Home Economics, Arts and Crafts, English,</p> <p>Do you have Japanese? Yes, I do. No, I don't.</p>	<p>Activity</p> <p><u>Let's listen</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声がどの曜日の時間割について説明しているのか考え、教科書に番号を書く。 <p><u>Let's play</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間割について3回質問をし、ペアが選んだ曜日を当てる。 	<p>[評価規準]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアの選んだ曜日を尋ねたり、答えたりしている。（コミュニケーションへの関心・意欲・態度）。 <p>[評価場面・方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Let's listen ・ Let's play ・ 振り返りシート
3	映像を見て、世界の子どもたちがどんな時間割で学んでいるのか、わかったことを空欄に書くことができる。	<p>What do you have on Monday? I have~. I study~.</p>	<p>Activity</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映像を見て世界の国々ではどのような教科を学んでいて、学校生活はどのようなものであるのかを空欄にまとめる。 	<p>[評価規準]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語を聞き取り分かったことを空欄に書くことができる（外国語への慣れ親しみ）。 <p>[評価場面・方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書 ・振り返りシート

4	教師のお気に入りの時間割を知り、自分のお気に入りの時間割をペア同士で紹介し合うことができる。	<ul style="list-style-type: none"> • What do you have? • I have～. • Do you like～? • Yes, I do. • No, I don't. 	<u>Activity</u> <ul style="list-style-type: none"> • ペアで自分が作った時間割についてを英語でくわしく伝え合おう。 • What do you have? や I have～などの英語表現を用いてペアがどのような時間割を作ったか伝え合う。また Do you like～?などを用いて好きな教科についてさらに確認し、詳しく聞く。 	<p>[評価規準]</p> <ul style="list-style-type: none"> • What do you have? や I have～などの英語表現を用いながら、対話することができる(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)。 <p>[評価場面・方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> • コミュニケーションの観察 • 教科書 • 振り返りシート
5	映像を見て登場人物の将来の夢とそのための夢の時間割について話すのを聞いて、わかったことを線でつなげることができる。また、自分が就きたい職業を選択し、時間割を作ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> • What do you want to be? • I want to be a～. • I study～. • I have ～. 	<u>Let's watch and think</u> <ul style="list-style-type: none"> • 映像を見て登場人物の夢と時間割を聞き取る。 • 自分の将来を考え、就きたい職業を選択し、そのために学校でどのようなことを学ぶか考えながらオリジナル時間割を立てる。 	<p>[評価規準]</p> <ul style="list-style-type: none"> • 聞き取ったことをもとに線で結びつけることができる(外国語への慣れ親しみ)。 <p>[評価場面・方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> • ワークシート • 教科書 • 振り返りシート
6 本 時	自分が就きたい職業のための夢の時間割を完成させ、ペア同士で伝え合うことができる。	<ul style="list-style-type: none"> • What do you want to be? • I want to be a～? • I study～. • I have ～. • What do you have? • First,Second,Third... <p>【subject】</p> <p>Japanese, Math, Science, Social studies, Music, Calligraphy, P.E, Moral Education, Home Economics, Arts and Crafts, English</p>	<u>Activity</u> <ul style="list-style-type: none"> • 自分が就きたい職業について考えながら作成した夢の時間割をペアに紹介する。 • ペアを変えて、夢の時間割を繰り返し練習する。 	<p>[評価規準]</p> <ul style="list-style-type: none"> • 「将来仕事に就くためにどのような教科を学ぶか考えながら作った夢の時間割を紹介し合う」活動を通して、What do you want to be? や What do you have on Monday? I want to be～. I have～などの英語表現を用いながら、対話することができる(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)。 <p>[評価場面・方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> • 練習場面 • 振り返りシート

5. 本時のねらい

「将来仕事に就くためにどのような教科を学ぶか考えながら作った夢の時間割を紹介し合う」活動を通して、What do you want to be? や What do you have on Monday? I want to be～. I have～.などの英語表現を用いながら、対話することができる

6. 本時の展開 (6/6)

段階	児童の活動	教師の指導・援助	ALT との関わり
つかむ (10分)	<p>1. Greeting (はじめのあいさつ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HRTやALTと一緒に挨拶をしたり、天気を確認したりする。 <p>How is the weather now? (天候) What day is it today? (曜日) What's the date today? (日付)</p> <p>2. Small Talk (英語で話してみよう)</p> <p>テーマ: What do you have in your pen case? I have～.</p> <p>3. Teacher's Time</p> <p>いろんな先生の夢の時間割紹介</p> <div data-bbox="201 622 668 757" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>課題 ペア同士で夢の時間割を英語で伝え合おう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・元気に挨拶をして、明るい雰囲気を作る。 ・Small Talkでは対話の場面を観察しながらどのような英語表現を使うとさらに長く話題を広げることができるかをコメントする。 ・ALTとHRTで夢の時間割を紹介し、本時で用いる I want to be～.や What do you want to be?という表現に慣れ親しませる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Greeting (あいさつ) ・Small Talk Theme is "What do you have in your pen case?" (スモールトーク). ・Show the model and advice. (モデルを示し、アドバイスをする。) "Do you have ~?" "Oh, you have～. Me ,too." ・Plesase watch this slide! What did they want to be when they were elementary school students? (スライドで見せる)
深める (28分)	<p>4. Activity (活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Practice time (練習) ・ALTと英語表現 "What do you want to be?" や "What do you have?" の練習をする ・本時の活動の説明を聞き、実際にHRTとALTがデモンストレーションする姿を見る。 <div data-bbox="201 958 743 1077" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>HRT: What do you want to be? ALT: I want to be a doctor. HRT: Nice! What do you have in your schedule? ALT: I have English... HRT: Oh! It's nice! Do you like science?ALT: Yes,I do.</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・隣同士のペアにして、2分のなかでお互いになりたい夢とそのための時間割を伝えあえるように指示し、時間が余った場合は "Do you have～?" などと聞いて話題を広げるようにさせる。 <p>5. Middle Comments (中間交流)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中間交流ではHRTとALTがペア同士で就きたい職業やそのための時間割について尋ねながらやり取りしている姿を価値付け、後半の活動につなげる。 <p>6. ペアを変えてさらに夢の時間割を紹介し合う</p> <p>7. 全体交流</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・What do you want to be?と What do you have?のキーセンテンスが書かれているシートを掲示し、繰り返し練習する。練習した後取りはずす。 ・want to be (なりたい) と have (～がある) の意味の違いを理解させ、練習させる。 ・テンポよく言えるようにするため、リズムにあわせてALTと練習する。 ・話せずに困っている児童のそばへ行き、小声で表現の復習をする。 ・活動の中でよい姿をその場で価値付け、評価していく。 ・中間交流では、課題に照らし合わせながら児童の姿を具体的に価値付ける。実際にうまく英語表現を使いながら伝え合いができていた児童を価値付け、みんなの前で発表する。 ・実物投影機で大きく映し出し、映し出された時間割を指さしながら発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Show the skit.(スキットをみせる) ・Give individual guidance. (机間指導) ・Evaluate some good students and advice to students.(児童を価値づけ、全体にアドバイスをする) <div data-bbox="1155 1111 1453 1688" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[評価規準] 「将来仕事に就くためにどのような教科を学ぶか考えながら作った夢の時間割を紹介し合う」活動を通して、What do you want to be? や What do you have on Monday? I want to be～. I have～.などの英語表現を用いながら、対話することができる (コミュニケーションへの関心・意欲・態度)。 [評価場面・方法] ・練習場面 ・振り返りシート</p> </div>
まとめる (7分)	<p>8. 振り返りシートを記入する。</p> <p>「将来の夢とその将来のための夢の時間割を紹介し合う」活動を通しての自己評価を具体的に書く。</p> <div data-bbox="240 1823 759 1980" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(振り返りの例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語で自分の夢と時間割について話せたのでよかった。 ・将来の夢をいう時は "I want to be～" と紹介することがわかった。 </div> <p>9. Evaluation (評価)</p> <p>HRT,ALTの評価を聞く。</p> <p>10. Greeting (おわりのあいさつ)</p> <p>元気よく挨拶をする</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・どのペアとどのような英語表現を使って対話したのかをコメント枠へ具体的に書くように指示する。 ・HRTが英語表現でよかった点について本時の評価規準に沿った価値付けをし、ALTはEye contact (アイコンタクト) や指を指しながら説明する Gesture (ジェスチャー) などの態度面を評価する。 ・元気にあいさつをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Evaluate some good students. (評価) ・Greeting (あいさつ)